令和7年度 第1回 北浜東小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年4月24日（木）14時00分から16時10分まで
- 2 開催場所 北浜東小学校 特別室
- 3 出席委員 倉橋 芳久、本間 規子、生熊 義憲、今田 栄之助、
久保田 静香、神谷 智里、羽柴 ちひろ
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 松野 聖（北浜南部協働センター）
- 6 学 校 中島 利美（校長）、佐野 教代（教頭）、
菅沼 秀明（CS担当教員）、入手 佑香（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 入手 佑香（CSディレクター）
- 9 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、倉橋委員を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された倉橋委員から、生熊委員を副会長に指名する旨の報告があった。

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、倉橋会長が、本日の議長を務めることを申し出、全員意義なくこれを承認した。

11 協議事項

- (1) 令和7年度の学校運営の基本方針について
- (2) 学校いじめ防止基本方針に関することについて
- (3) 「夢育やらまいか」事業の意見書について

12 会議記録

司会の菅沼から、委員総数7人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 令和7年度学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 第4次浜松市教育総合計画にある「すべての人々のウェルビーイング」の向上とは何か。（今田委員）
- ・ 子供たち一人ひとりと社会全体が、現在から将来にわたって「心身ともに健康で、持続的に幸福な状態」で充実している状態を表している。（校長）
- ・ 「特」の部分の取組に、心の日の設定「SGE・SST」とあるがどういった意味なのか。また、具体的にどのような取組をしているのか。（倉橋委員）
- ・ SGEは「構成的グループエンカウンター」また、SSTは「ソーシャルスキルトレーニング」を略して呼んでいる。（校長）

- ・ 「構成的グループエンカウンター」は、人間関係作りを目的に、友達との触れ合い体験を通して、他者理解・自己理解を深めるトレーニングのような活動となる。また「ソーシャルスキルトレーニング」は、社会で人と人とが関わりながら生きていくために欠かせないスキルを身につける活動となる。(校長)
- ・ 4月の活動では、「友達をいっぱい作ろう」をテーマに低学年は、歌に合わせて友達と握手をしたり、高学年は「いろいろじゃんけん」を行った。ゲーム感覚で楽しみながら人間関係をより豊かにしていく取組を月1回実施している。また、対人関係をスムーズにするための活動の時間を設けることが子供たちの成長に繋がると考えている。(校長)
- ・ 自分は子供の頃から、人と手を繋ぐことが苦手だった。子供たちの中にも同じ思いを持っている子供がいるのではないか。(生熊委員)
- ・ 現在の6年生は、入学して早々に新型コロナウイルス感染症が流行し、授業や行事が中止・制限される中、マスクを着用して人と人との間に距離をあけるなど生活のルールが変わった。人と触れ合うことに関して警戒心があることはやむを得ないと感じている。(久保田委員)
- ・ マスクを着用していると顔の大半が覆われ、感情の変化や意思疎通がうまく伝わらない。そのため、人との距離感が分からない子供が増えている印象がある。
(久保田委員)
- ・ 日常的にマスクを着用する生活が続き、表情が見えないことで子供たちの発達にどのように影響するのかとても心配だった。(本間委員)
- ・ 自分が苦手なところも見せることで、違う意見や価値観も受け入れることが大切と感じた。(本間委員)
- ・ スクールガードをしていた時、上級生の子供たちに「おはよう」と挨拶をしても、返事がなく、下を向いている子が多かったように思う。(今田委員)
- ・ 自分たちの時代とは違い、子供たち同士が自然に人間関係を築いていくことが難しくなっている。子供たちが互いを知ることが出来る場を意図的に設ける必要があることに寂しさを感じる。(生熊委員)
- ・ (神谷委員)
- ・ コミュニケーションの方法は、握手だけでなくグータッチやピースなどいろいろな方法を選択できるようにしている。(校長)

(2) 学校いじめ防止基本方針に関することについて

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき、いじめ防止基本方針について説明があり、以下の発言があった。

- ・ いじめアンケートを通して、子供から話を聞き出す良い機会になっている。いじめになる前に気付くことができている。(久保田委員)
- ・ ふざけ合いのような些細な出来事でも学校が丁寧に対応してくれている。いじめになる前に対策してくれたことが保護者としてとても安心感があった。
(羽柴委員)

(3)「夢育やらまいか」事業の意見書について

議長の指示により、教頭から別紙資料に基づき、地域ふれあい活動や学校運営に資する活動を行うための経費として有効活用する説明があった。委員から、以下の発言があった。

- ・ 一昨年には、出前講座で職業体験が行われていたが、今年度は予定しているのか。職業や仕事について体験したり、働く人々と接したりする機会がとても良かった。(久保田委員)
- ・ 出前講座は抽選となっている。6年生の総合的な学習の時間では、「夢」をテーマとして、職業について子供たちの興味関心から毎年、職業講座を実施している。(教務主任)
- ・ 昨年度は、お箸について長けている方に職業講話をしていただき、とても好評だった。子供たちに仕事のやりがいや仕事内容など話をしてくれる方をご存知の方はぜひ学校に繋げてもらいたい。(教頭)
- ・ 地域には、知られていない有能な人材がたくさんいると思う。地域の方が目にする回覧板を活用して、募集をしてはどうか。(倉橋委員)

その他報告事項等

司会から、第2回学校運営協議会は、5月26日(月)午後1時30分から特別室で開催する旨の報告があった。